

私の好きなことば
(118)

茨城県歴史館 館長

山口 やちゑ



「不易流行」

私が歴史館の館長に就任した時、ある方を通して、茨城県書道美術振興会理事長の吉沢鐵之先生が、好きな言葉を書いたためて下さるとの有り難いお言葉をいただき、「不易流行」と、お願いした。

「不易」は変わらないこと、「流行」は変化すること、しかし、一見両極にあるように思える二つの概念は、根元において一つであるという俳諧の理念である。

「ゆく川の流れは絶えずして、しかも元の水にあらず」と始まる方丈記の冒頭は、まさしく、その本質を表している。伝統を引き継ぎ守ることは大切であるが、そこに絶えず新味が加わり、不易と流行が一体となっていく。このことを敷衍すると、人の生き方、社会のあり様など、全てに通ずるものであると思われる。

昨今の日本社会をみると、前例や連続性にもみ固執し、活力が失われていることに危機感を覚えている。